

1000BASE-T SFPモジュール

AT-MG8T インストールガイド

このたびは、AT-MG8Tをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。本製品は弊社ハードウェア製品のSFPスロットに装着して、1000BASE-Tポートとして使用するためのSFPモジュール(以下、SFPと省略)です。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、本製品を装着する製品本体のマニュアル、リリースノートもあわせてご覧ください。

1 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- AT-MG8T 1個
- 製品保証書 1枚
- シリアル番号シール 2枚
- インストールガイド(本書) 1部

2 対応機種

- CentreCOM 8948XL

対応機種が追加された場合、弊社ホームページの「製品」、またはデータシートでお知らせすることがあります。本製品を装着するスイッチ本体のマニュアルとあわせてご確認ください。

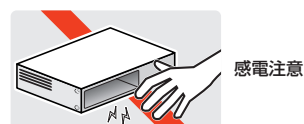
ホームページ

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

3 取り付け・取り外し

取り付け・取り外しのときはコネクター・回路部分をさわらない

稼働中は、製品本体に電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し(ホットスワップ)を行う際は、コネクターの接点部分・回路部分にさわらないように注意して作業してください。



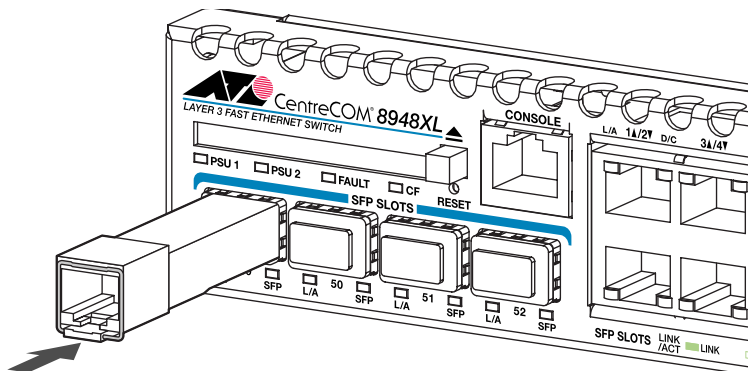
SFPはホットスワップ対応のため、取り付け・取り外しの際に、本製品を装着する製品本体の電源を切る必要はありません。



SFPには、スロットへの固定・取り外し用にハンドルが付いているタイプとボタンが付いているタイプがあります。形状は異なりますが、機能的には同じものです。

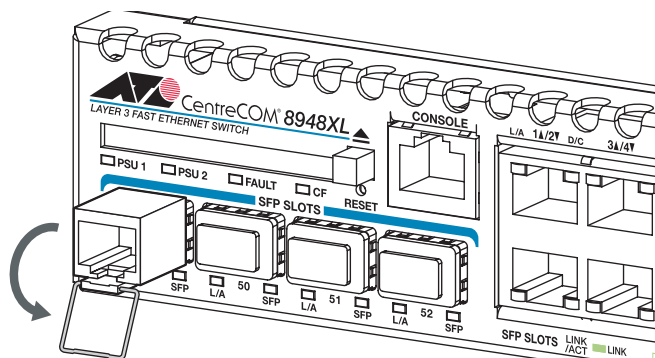
取り付け


- 1 SFP スロットに付いているダストカバーをはずします。
- 2 SFP の両脇をもってスロットに差し込み、カチッとハマるまで押し込みます（下図はCentreCOM 8948XL）。ハンドルが付いているタイプは下図のようにハンドルを上げた状態で差し込んでください。



取り外し

- 1 UTP ケーブルをはずします。
- 2 ボタンが付いているタイプはボタンを押し、ハンドルが付いているタイプは下図のようにハンドルを下げた後、手前に引いてスロットへの固定を解除します。次に SFP の両脇をもってスロットから引き抜きます。



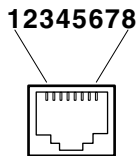
 **注意** SFP スロットを使用していないときは、SFP スロットにダストカバーを装着してください。

4 使用ケーブル

ケーブルは、エンハンスド・カテゴリー5のUTPケーブルを使用します。接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。伝送距離は最大 100m です。

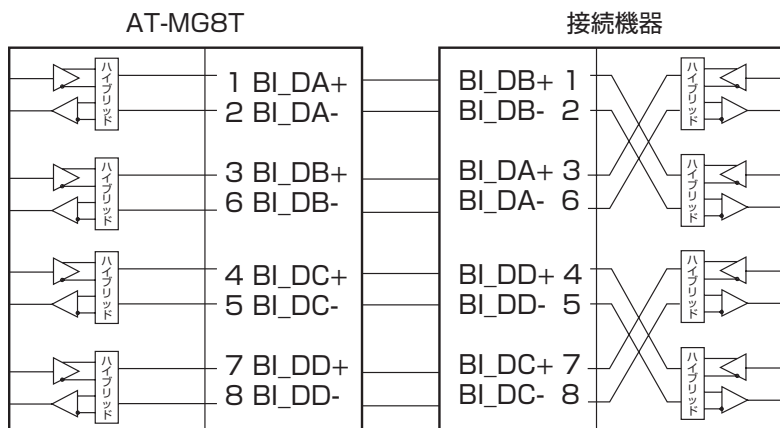
5 1000BASE-T インターフェース仕様

RJ-45 型のモジュージャックを使用しています。



コンタクト	MDI	MDI-X
1	BI_DA+	BI_DB+
2	BI_DA-	BI_DB-
3	BI_DB+	BI_DA+
4	BI_DC+	BI_DD+
5	BI_DC-	BI_DD-
6	BI_DB-	BI_DA-
7	BI_DD+	BI_DC+
8	BI_DD-	BI_DC-

ケーブルの結線は下図のとおりです。



6 製品仕様

準拠規格	IEEE802.3ab 1000BASE-T	
適合規格	UL60950, CSA-C22.2 No.60950	
通信速度	1000Mbps	
動作電圧	DC3.3V	
最大入力電流	380mA	
最大消費電力	1.3W	
最大発熱量	4.7kJ/h	
環境条件	動作時温度	0~55℃
	動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
	保管時温度	-20~65℃
	保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法	According to SFP MSA	

